

令和 6 年

第 11 回 教育委員会 定例会

議 事 録

佐 渡 市 教 育 委 員 会

令和6年 第11回 <u>定例</u> ・臨時委員会 議事録			
委 員 会 日 程			会 場
開会日時	令和6年9月24日 午前・ <u>後</u> 2時00分		佐渡島開発総合センター 2階 第3会議室
閉会日時	令和6年9月24日 午前・ <u>後</u> 2時54分		
延会日時	令和 年 月 日 午前・後 時 分		
出 席 者		欠 席 委 員	会 議 録 署 名 委 員
教育長 香遠 正浩			加藤 雄一郎
1番委員 加藤 雄一郎			瀧川 紀子
2番委員 瀧川 紀子			
3番委員 岩崎 奈美			
4番委員 後藤 まき子			
議 案 説 明 の た め 出 席 し た 職 員			
教育次長 鈴木健一郎 総務部 総務部長 中川 宏 総務課長 谷川 直樹 教育次長補佐 兼社会教育課長 市橋 秀紀 教育次長補佐 兼教育総務課長 柳澤 正二 教育総務課 課長補佐 若林 昭宏 総務係主任 小林 唯美 学校教育課 課長 渡邊 一哉 管理主事 本間 智英			
傍 聴 人	有・ <u>無</u>		
報告の 要旨	「議事の概要」のとおり		

会 議 で 行 っ た 選 挙 の 結 果
なし

会議に付議した事件の題目 議案第 71 号 佐渡市公民館運営審議会委員の委嘱に係る専決処理について 報告事項 1 令和 7 年度組織改編 素案の概要について 2 その他 次回会議開催日		
採決の結果及び可否の数を計算したときは、その数		
なし		
請願、陳情 有・☒無	有の場合、別紙のとおり	
その他必要と認めた事項		
特になし		

【議事の概要】

・ 香遠教育長 ・ 委員全員 ・ 香遠教育長	◎本定例教育委員会は、午後２時から開催した。 ・ ただ今から、令和６年第１１回佐渡市教育委員会定例会を開催いたします。 ・ はじめに、日程第１「議事録署名委員の指名について」ですが、本日の署名委員は佐渡市教育委員会会議規則第１８条の規定により、加藤委員と瀧川委員の２名を指名いたしますので、よろしくお願いいたします。 ・ 日程第２、議案第７１号については、個人情報に関する内容が含まれていることから、佐渡市教育委員会会議規則第７条の規定により秘密会としたので、これに賛成の方は挙手をお願いいたします。 ・ 挙手 ・ 全会一致、よって議案第７１号を秘密会とすることといたします。 【秘密会】 ・ 議案第７１号「佐渡市公民館運営審議会委員の委嘱に係る専決処理について」、市橋社会教育課長より説明する。 【以上の議案については、質疑を経て原案どおり可決された。】 ・ 次に、日程第３、報告事項に移ります。 ・ 報告事項１、「令和７年度組織改編素案の概要について」、事務局の説明を求めます。 【説明要旨】 ・ 令和７年度組織改編の素案の概要ですが、今後の組織につきまして、文化スポーツに関する所掌を教育委員会から市長部局へ、また子供子育てに関する所掌を市長部局から教育委員会へ移す形で、大枠について総合教育会議の場においても、これまで何度か取上げてまいりました。 ・ 実際、子供子育てに関する所掌の移管につきましては、窓口の関係等、現時点で課題が多いという観点から引き続き検討を続けていくということで、まずは令和７年度、文化スポーツに関する所掌の移管を行いたいと考えております。 ・ その目的としましては、佐渡金山の世界文化遺産登録を契機に、文化芸術の振興、文化財の保存・活用、またスポーツの振興を観光と一体的に実施し、より一層の交流人口拡大を目指すために、総合的かつ一体的に運用していくという組織体制を構築したいということです。 ・ 仮称ではありますが、新たに市長部局のほうに観光文化スポーツ部という形のものを設置することを考えております。 ・ 今後につきましては、事務の範囲、必要な職員数等、関係部署とより具体的な協議を進めるとともに、関係団体等へ説明を行った上で、１２月定例会に条例改正案が提案できるよう進めていきたいと考えております。 ・ 令和７年度から新たな組織体制でスタートをしたいと考えております。 ・ 市長部局に移管した場合でも、文化スポーツが持つ社会教育的な側面は担保するとともに、学校教育との連携には十分留意することが必要であると考え、引き続き総合教育会議それから教育委員会の皆様と協議しながら
--	---

・ 香遠教育長 ・ 瀧川委員	進めてまいりたいと思っております。 ・ また、教育委員会に関する所掌以外では、地域、観光、福祉、教育などに係る交通施策を総合的に進めるため、交通施策の所掌を現在の観光振興部から企画部への移管を予定しております。 ・ 広報広聴活動についても、デジタルの強化を図り効率的・効果的に活用していくため、広報広聴の所掌を現在の企画部から総務部へ移管することを一緒に考えております。 ・ 市民の皆様が混乱せず、支障が生じないように関係部署間でしっかりと議論をして進めていきたいと考えております。 ・ 所掌事務の移管というところで、お配りしてある資料をご確認頂ければと思います。 ・ ありがとうございます。 ・ 今ほどの説明で今後具体的に協議を進めていくということであります。皆様から方向性についてはこれまでも同意をいただいておりますが、具体例を挙げながらで結構ですが質疑等ありましたらお願いします。 ・ 交流人口を増やす試み、取組について成功している他市を見てみると、ジオパーク、糸魚川のホームページを見ても所属しているところが商工観光課に属していて、ジオパークが再認定のときに私も結構詳しく調べましたが、そうするとアクセスがすごくスムーズにいつてるのが、課が違うってということなんだなあ、イベント情報とか、本当にスムーズにアクセスできていました。 ・ 私5年ぐらい前に、芸術大学在学中に鼓童を調べたときに、ちょうど津南町の「大地の芸術祭」のことを大学の論文で調べたことがありまして、そのときにも津南町も観光地域づくり課というところに、そういった芸術関係、文化関係が属していて、その交流体験活動から移住につなげていくという活動で、過疎化してたところが成功している。他市を見るとそういった取組で成功しているところがあるので、今回、佐渡金山の世界遺産登録の後にこういった観光事業の拡大とか交流人口を伸ばすに当たって組織改編というのはある意味成功なのかなと思って見ておりました。 ・ しかし、今まで社会教育課に、佐渡はジオパークがあつたり、そういった文化活動があつて市民講座や教育活動が学校に直接あつたりしましたし、あと佐渡ジオクラブとか、博物館にしても、子供がやっている博物館事業の取組がありますね。 ・ ジュニア学芸員養成講座というのを何年かやってると思いますが、この辺が、他市に比べると教育活動を早いころから熱心に取り組んでいます。 ・ 私は保護者の視点から教育委員会に入って感じることがあります。息子がジオパークを9年学んで、今地質を学び佐渡に帰って世界にアピールしたいという、佐渡が好きで、佐渡を自慢に思って、それでいきたいという、教育活動の一つの成功だと思います。未来に希望を持って取り組んでいる子供たちがいて。今回も博物館実習で糸魚川の博物館に戻ってきたい、地
------------------------------	---

	域の学生、女の子と話したりすると、学生時代にそういうのがない、体験とか、勉強会みたいなものはあるが、実際調べて発表の場に出るとか、そういった取組がなかったから佐渡はいいよねと言われていました。 ・今回これが観光を中心にして、体験学習とか交流とかそういった関わることだけが残って、今までこつこつと積み上げてきた、社会教育課であるからこそできていたことを残してもらいたいですし、佐渡だからできた取組がだんだん薄れていくというのが怖いです。 ・あと、人形芝居親子教室も、これも全国では他四カ所、文弥人形をしているところがありますが、子供が学んでいるところは限られていて、こういった活動が観光に行ってしまうとだんだんそこが薄くなってきて、やりたい子だけ、まあ広告を見てくるという形で関われるとか身近にあるという機会をどんどん流していかないように、教育委員会にあったものを、連携して残していただけるような組織づくりをしていただければ、観光に行って、交流人口が増えて、佐渡がすごくアピールできて、自慢の佐渡に残っていたい若者の希望の土地になっていくということであれば、本当に成功だと思うのですが学習面、今まで成功している分野というのは何とか残していただきたいと思います。 ・長くなって申し訳ないですが、ちょうど昨日の夜、大手不動産会社の新潟県内の住み続けたい街ランキングというのが出て、皆さん見られましたでしょうか。去年も佐渡2位だったんですよ。 ・昨年は1位が新潟市の秋葉区で、今年度は弥彦村が1位を取って、2位はまた佐渡市です。ランキングインタビューでの役場のコメントを見たら、観光地としても人気が高いが、歴史や伝統が根づいていて、行事や地域の住民の一体感を感じていて親しみやすい関係づくりができている。 ・また、バランスの良い賑わいと落ちついたところがあるということと、観光客でにぎわう一方で、住民同士のつながり、地域の魅力を高め住み続けたい理由とつながっているようだというコメントがあって、これは2位をずっと続けている佐渡に残っているもので、本当に、交流人口でもしかしたら移住が増えて、人口増加にもつながるというか、もう2回、2位を取っていることに誇りを持っていいと思ひまして、こういうことでも伸ばしていってほしいなと思います。以上お願いします。
・香遠教育長 ・中川総務部長	・今のご意見に関する質問あるいは説明などありますか。 ・非常に貴重なご意見をありがとうございます。 ・やはり組織が変わったから全くすぐ変わるということではないと思いますが、当然いいとこ取りができていけばいいとは思いますが、全部やっていけるということでもないでしょうし。今まで培ってきたものを残していくためにはどういう形が良いのか、今後関係者と相談、議論を重ねていければと考えております。大変貴重なご意見ありがとうございます。 ・お願いします。 ・他にありますか。
・瀧川委員 ・香遠教育長	

・ 岩崎委員	・ 私は普段は、小学校と中学校と、地域コーディネーターというのをやっています、その関係で社会教育課の大変さというか、いつも忙しいところだなというのは、日頃から感じていましたので、こういった組織改編というのはありかなとは思いますが。どうしてもその教育ということを考えると、今気になっていることは中学校の部活の地域移行、当然皆さん考えると思いますが、そこが芸術文化も関わってるしスポーツも入っていますので、それが観光のほうに、スポーツと文化が移行してしまうと、どうしてもその学校の部活動といった分野が宙ぶらりんみたいな感じになるのかなという懸念がありまして。例えば今までだったら、社会教育課に問い合わせ、例えばスポーツだったら、球場借りたいとか、体育館借りたいとか、あとは文化系だったら、1か月に何回かその会場を借りたりとかというのは簡単にできたと思いますが、来年度になったら、どうなるのかなというのはやはり心配だなというのもあって、十分に連携しながらやってほしいなと思います。以上です。
・ 香遠教育長 ・ 中川総務部長	・ 今のご意見、ご要望に関する説明等ありますか。 ・ 先ほど申しましたが、組織と所掌が変わったことによって全く激変するということは当然あり得ませんので、部活動の地域移行につきましても当然、進めてきておるところでありますし、どのような形がいいのか関係機関と連携をしながらできるような形がとれるよう議論してきちんと進めていきたいと考えております。貴重なご意見をありがとうございます。
・ 岩崎委員	・ 昨年あたりからようやく1年たって、何とか軌道に乗りつつあるので、宙ぶらりんにならないように、重要事項としてぜひやっていただきたいと思いますのでお願いします。
・ 香遠教育長	・ 今の岩崎委員の要望に関連しますが、公民館は移管しません。 ・ 例えば、夜あるいは土日、子どもや大人が各地区の体育施設を利用する場合があります。そういった時、社会教育課の公民館や教育事務所が窓口となりスムーズに体育館が利用できるようになってきました。そういった学校開放などは観光振興には全く関係ありません。今まで公民館が担っていた社会教育の中の生涯学習としてのスポーツは、果たして観光にいいのだろうか。あるいは、公民館は動かないのであればその部分については、今のままがいいのか考えていきたいと思いますが、いかがでしょうか。
・ 岩崎委員	・ 私も教育長と全く同じ意見なのですが、観光の分野と来年度から観光スポーツ部となりますが、その中で観光の分野と教育部門とか何かそういうふうに分けてといった方法は、難しいですか。 ・ 公民館がもし移らないということであれば、そういうのもあったほうがいいのかとは単純に考えたのですが、いかがでしょうか。
・ 中川総務部長	・ 様々な所掌事務をどの課がどのように担うのが良いのかは、今後考えて決めていきたいと考えております。また、担当部署を決めても、それで決定ではなく、そこからより良い形になるよう協議を進めていければと思っています。そのためには皆様からのご意見も含め、様々な方々のご意見

・香遠教育長 ・鈴木教育次長 ・市橋社会教育課長 ・香遠教育長 ・瀧川委員 ・香遠教育長 ・加藤委員	を基に関係部署で協議を重ねて進めていきたいと考えております。 ・ 何かありますか。 ・ スポーツについてスポーツの振興と教育に関する部分の切り分けというご意見も今ほどありましたが、実際には現在係は一つしかありませんし、限られた人数で業務を行っていますし、明確に区切れずスポーツの振興としていることもあると思います。ただ一方で、今おっしゃっていただいた学校に関連する部分については、どうしていくのがベストなのか事務局としてもしっかり考えていきたいと思っています。 ・ しっかり考えます。 ・ 瀧川委員。 ・ 私、この説明を聞いたときに、単純には地域クラブ活動みたいなものは、生涯学習とか学校教育の一環だから、そのまま社会教育課に残る頭でいて、今年の夏、実現しなかったですが、確か呼んで子供たちをこの佐渡の文化に触れ合うこのような、今回は文弥人形でしたが、これが鬼太鼓だったり、いろいろするかもしれないですが、こういった、他市から来てもらって佐渡を知って学んでもらうこういった体験学習、いわゆる交流体験を増やしていく部とかが観光課とタッグを組んでいくのかなと思っていました。そうすると同じような項目が二つ重なって生徒には出てしまいます。 ・ こういうのでいくと、今始めて2年とか佐渡しかない取組の親子教室という課で、どういう形で子供たちに残っていくのが成功なのかなのをよく分からなくて。今後もアピールして欲しい。しかも交流体験を体験不足の子供たちのことがネットでも、教育関係の書物でもいろいろ出ています。子供の体験を、家庭だけに求めると、なかなかそういう時代ではなくて、公民館事業だったり、そういった子供たちだけでも参加できる体験を残していこうという考えがあり、佐渡は、もう2年も3年も先手を打ってやっている取組がある。ここは自慢できるところだなと思っているので、良い形で、どの課がやっていくかちゃんを残していただきたいと思います。 ・ いろいろこう細かく決めていく中で残す方向でお願いいたします。 ・ 付け足しやその他ありませんか。 ・ 組織を変えるというのは物すごく大変なことだと思いますが、私は必要に応じて変えていって当然いいだろうなとも思いますし、この段階で出ているものはやはりもやもやとしていて、とても、広い範囲、広い人たち、いろんな部署が関わっている部分なので、これは要望ですが、先ほど中川部長さんのほうで関係部署での連絡調整、連携していきますと、もちろんそれがないと次に進めないと思います。今回再編するに当たって、なぜ再編する必要があるのか。ちゃんと理由があると思います。観光が一つ大きいのですが、もちろんそれだけではない、いろんな佐渡全体の行政に関わっている部分の再編の意図があるのだと思います。
--	---

・香遠教育長 ・市橋社会教育課長 ・香遠教育長 ・事務局 ・香遠教育長 ・香遠教育長	・ 今までの組織でここが不十分だった。ここが課題だ、ここをこう変えるとよりよくなるだろうといった場合に、今までやっていた部署というか、ところと、今度新しくできたところがどう分担したり、関わって重なっていくのかとか、本当に分けていいのかとか、どうするとそれが動きやすくなるのかというのは、それぞれの今まで担当した部署の人たちが、もうけんけんがくがく意見、ある程度全体が分かっている人がいないと、恐らく決まっていけないなと思います。その調整が実はすごく大変なことだろうなと。 ・ 今話聞いていても、部活の地域移行の事だったり、学校開放の事だったり、文弥人形だの、そういう教育に関わるものだったり、私もジオパークは少し関わっていたので、ジオパークの中にもいろんな組織があって、その教育部会というのが、そこは学校教育とか、社会教育と関わってやっている。これはそのままじゃあ、観光文化部全部行くのかというと、私そうじゃないだろうなとイメージはしているのですが。その辺の調整も含めて、過渡期の部分はやりながらの部分もあるかと思いますが、関係部署の連絡調整をぜひしっかりと、またそのメンバーによっても、詳しい人とそうでない人もいると思うので、その辺うまく進めていただきたいなという要望です。もちろんそうしていくと思いますが。 ・ 市橋社会教育課長。 ・ 今回社会教育課から観光課へ移る件で、今までの経験や知識を含め、大事なところは次の課にしっかり引継ぎ、申し伝えをして円滑な移管を目指したいと考えております。観光課と十分な打合せをし、この後いろいろな方向性の中でまた皆さんに説明するときがあると思いますので、間違っていればご指導いただきたいと思います。社会教育として必要性があることと思われる点についてはしっかり伝えたいと思いますので、よろしくお願いいたします。 ・ ほかに委員の皆様からありますか。ほかには質疑なしと認めます。 ・ では今後ですが、先ほどの説明通り、次の12月議会に上程するため、逆算して11月に市長との総合教育会議、具体的なことについて、協議・議論をしたいと思います。まだ二月あります。来月の定例会でまたご意見をいただき、総合教育会議に臨みたいと思います。よろしくお願いいたします。 ・ お二人ありがとうございました。 ・ 次に、報告事項2、「その他」、事務局からありますか。 ・ ありません。 ・ 報告事項はこれで終了いたします。 ・ 日程第4、「次回会議の開催日」について、事務局の説明を求めます。 【次回の会議は、10月23日（水）に定例会を開催したい旨を説明した。】 ・ 以上で令和6年第11回佐渡市教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。
--	--

	午後 2 時 54 分終了
--	---------------